

2025神戸空襲戦跡ボランティア養成講座

戦後80年がたち、体験をお話してくださる体験者も少なくなってきました。私たちにとって、日本が戦争をしたことも、また銃後と言われた日本も神戸の街も空襲があり、被害を受けたことも忘れてはいけない記憶です。

空襲の跡が残るところは、阪神淡路大震災もあり、本当に少なくなりました。しかし、その場所に立ち、そこに起こったことを想像すること、それを語り伝えていくことは重要です。

一昨年から、お一人でも多く、一緒に考えていただき、語り伝える機会を作っていただければと考え、企画しています。昨年も、参加いただいた方の中には体験者もいらっしゃったり、地域のボランティアガイドに取り組みされている方もいらっしゃったり、歴史好きの方、街歩きが好きな方もいらっしゃいました。また、実際に、昨年は中学生高校生へのガイドに協力いただきました。いろんな方々に集まっていただき、様々な角度から戦争や戦争のあとを語り継ぐことについて考えあえたらと思います。

ボランティア養成講座の内容

各区に関連する空襲体験記を読み、各区に残る戦争のあとを紹介します。それをもとに、自分ならどんな案内をするか、何を説明したいかなどを調べ、発表しあいます。可能な限り、後日現地を歩く機会を設けます。

日程

2回以降は奇数月第3日曜 13:30～15:30 コースは変更もあります。

第1回	4月20日(日)	13時半	兵庫コース
第2回	7月20日(日)	13時半	須磨コース
第3回	9月21日(日)	13時半	灘・東灘コース
第4回	11月16日(日)	13時半	中央コース

場所

こうべ青年学生センター1階会議室(阪急六甲 南側 灘区八幡町)

参加費

1回500円 1回だけの参加もOK

学生は無料

神戸空襲を記録する会・神戸平和マップをつくる会